

令和2年度進学者及び編入学者

授 業 科 目 表

授 業 要 旨

機械機能創成専攻

Department of Mechanical Systems Engineering

区分	授業科目	開講時期	使用言語	単 位			担 当 教 員	備 考
				必修	選択必修	選択		
学 際 基 盤 科 目	研究開発マネジメント論 Management of Research and Development	毎年	JE		2		教授 三浦 英生 材強研 教授 渡邊 豊 量子エネ	左記の学際基盤科目、特別講義B、特別研修B、及び関連科目の内から4科目以上を選択履修し、8単位以上を修得すること。なお、特別講義Bと特別研修B及び関連科目で修得した単位は4単位まで本要件に含めることができる。 A student has to earn 8 or more credits from the Interdisciplinary basic subjects listed in the left column. However, a total of 4 credits at most, obtained from Advanced seminar B, Special lecture B, and Related subjects are included in this requirement.
	近代技術史学	毎年	J		2		教授 田中 秀治 ロボ	
	ベンチャー・ビジネス論	毎年	J		2		教授 石田 修一 技術社会	
	ベンチャー企業戦略		J		2		講師(非) 講師(非)	
	知的デザイン学特論 Advanced Intelligent Design		E		2		教授 厨川 常元 医工学 教授 小野 崇人 機創 准教授 水谷 正義 機創	
	エネルギーシステム工学特論 Advanced Energy Systems Engineering		E		2		教授 湯上 浩雄 機創 教授 琵琶 哲志 機創	
	破壊機構学特論 Fracture Mechanics and Mechanisms	毎年	E		2		教授 小川 和洋 材強研 准教授 竹田 陽一 材強研	
	知能流体システム学特論 Intelligent Fluid Systems		E		2		教授 丸田 薫 流体研 教授 佐藤 岳彦 流体研 教授 小宮 敦樹 流体研	
	機械システム保全学特論 Advanced Mechanical Systems Maintenance Engineering		E		2		教授 内一 哲哉 流体研	
	多元物質応用システム工学特論 Multidisciplinary Research and Application of Solid-State Ionic Devices	隔年	E		2		教授 雨澤 浩史 多元研	
ナノテクノロジー特論 Advanced Nano/Technology		E		2		教授 高 偉 ファインメカ 教授 足立 幸志 機創		
バイオナノテクノロジー特論 Advanced Bio-Nanotechnology	隔年	E		2		教授 西澤 松彦 ファインメカ 教授 田中 徹 医工学 准教授 福島 誉史 機創		
専門 科 目	機械機能創成特別講義 B Special Lecture on Mechanical Systems Engineering B				1~4			
	機械機能創成特別研修 B Advanced Seminar on Mechanical Systems Engineering B				1~4			
関連科目	本研究科委員会において関連科目として認められたもの。 Those approved by the Educational Committee of the Graduate School of Engineering							
専門 科 目	機械機能創成博士研修 Doctor Course Seminar on Mechanical Systems Engineering			8				

機械機能創成専攻

1. 上記科目の単位数を合わせて16単位以上を修得すること。(うち自専攻の学際基盤科目から4単位以上履修すること。ただし、特別講義B、特別研修B及び関連科目の内から4単位以上を選択履修することもできる。)
2. 表中の授業時間は、1週の授業時間数を示すものであるが、その配置は変更すること、または期間を区切って集中的に実施することがある。
3. 担当教員名は予定者を含んでおり、変更することがある。
4. 『使用言語』欄のアルファベット記号について
E…英語開講科目。英語で講義する科目。講義スライドやレポート課題・試験問題等の資料はすべて英語で提供する (Lectures given in English. All the materials, reports and exams are given in English)。
JE…準英語開講科目。英語でも理解できる科目。原則日本語で講義を行うが、英語での質問を受け付ける。講義スライドやレポート課題等の資料の要点や試験問題は英語でも理解できるものを提供する (Lectures given in Japanese, with English explanations)。
J…日本語開講科目 (Lectures given in Japanese)

<p>研究開発マネジメント論【TMFMEE720】 2単位 Management of Research and Development</p> <p>選・必 教授 三浦 英生 教授 渡邊 豊</p> <p>工学における学術研究や製品、技術開発を社会的要請に適合させながら合理的かつ効率的に推進する上で不可欠となる基礎知識を体系的に論じる。国際社会ニーズの予測とその実現に不可欠な技術シーズのタイムリーな開発を個人のスキル向上から組織運営や経営の視点まで幅広く論じる。さらにその実践としてグループ討論を通し、将来の社会変革を引き起こす新プロジェクトの提案とその相互評価を体験し、グループリーダーとして今後習得すべきスキルにつき考えるヒントを提供する。</p>	<p>近代技術史学【TMFMEE721】 2単位 History of Modern Technology</p> <p>選・必 教授 田中 秀治</p> <p>技術史を学ぶことは、技術の原理と系譜、技術進化の必然性、社会と技術との関わり、試行錯誤の経緯と帰結、先人の成功と挫折などを理解することに繋がる。自動車エンジン、記憶装置、通信装置、半導体集積回路など、身近な機器・技術の発展の歴史を、また、一部については衰退の歴史も学ぶ。それぞれの技術史には、他の技術開発にも活かせる考え方や教訓が含まれ、それを受講者自身が考えることによって、博士論文研究、および将来の研究開発に活かすことを本講義の眼目としている。</p>
<p>ベンチャー・ビジネス論【TMFMEE723】 2単位 Entrepreneurial Management</p> <p>選・必 教授 石田 修一</p> <p>主に技術的な取り組みを事業化するために必要となる基本的な考え方を学ぶ。まずグローバルな視点から世界のベンチャーの動向について知識を深めこの領域における土地勘を養う。さらにアクティブラーニング形式で事業アイデアをコンセプトにまとめ戦略に落とし込むまでの一連の過程をグループ討議などによって演習する。ベンチャーに関する緒論は一講義で完結的に網羅することは困難なので、本講義では内容を詰め込み過ぎず事業スタートアップの初期段階に絞って内容を進める。【マネジメント系科目】</p>	<p>ベンチャー企業戦略【TMFMEE724】 2単位 Venture Strategy</p> <p>選・必 講師(非) 講師(非)</p> <p>日本の産業イノベーションにもっとも近い距離にいる、特徴ある小さな組織としてベンチャー・中小企業を取り上げる。まずは新商品・新事業の創出メカニズムを明確化したあと、製造業における付加価値構造のパラダイムシフトと研究、開発、事業化への時系列的な概念を述べる。また、具体的なマネジメントの方法論（マーケティング、産学連携、知財戦略、プロジェクトマネジメントなど）の基礎知識を示す。事例研究として米国の典型的な株式公開型ベンチャー企業や大企業と連携するベンチャー企業を中心に述べたあと、日本の成功・失敗事例を講ずる。また、地域発のベンチャー・中小企業について、広範な成功事例を中心に例示・解析する。一方では、戦略的な経営ロードマップとして、ビジネスプランの初歩的な作成が可能となるように、技術と市場の捉え方から始まり、知識と実例についても基礎的体系的に講義する。時間内に簡単な演習を実施する。</p>
<p>知的デザイン学特論【TMFMEE725】 2単位 Advanced Intelligent Design</p> <p>選・必 教授 厨川 常元 教授 小野 崇人 准教授 水谷 正義</p> <p>ナノテクノロジーを利用したナノ精度機械加工技術や集積化技術、これらを基盤とした精密機械や微小機械、その機械要素の設計やモデリング、および宇宙ロボットやヒューマノイドロボットへの応用について、最近の研究動向や研究成果について講義する。</p>	<p>エネルギーシステム工学特論【TMFMEE726】 2単位 Advanced Energy Systems Engineering</p> <p>選・必 教授 湯上 浩雄 教授 琵琶 哲志</p> <p>エネルギー変換工学および関連分野の中でも、熱および流体エネルギーの新しい制御と利用法や再生可能エネルギー利用技術、熱音響現象およびその応用に関して、広範で、かつ深い専門知識を講義すると共に、現時点における問題点の発掘とそれに対応する新しい問題解決方法を考究し、博士課程学生の問題発見・設定能力の涵養に主眼をおく。</p>
<p>破壊機構学特論【TMFMEE727】 2単位 Fracture Mechanics and Mechanisms</p> <p>選・必 教授 小川 和洋 准教授 竹田 陽一</p> <p>破壊現象は古くから知られた現象であるが、そこに関与する因子の多様性により依然として未解決の問題が残されており、その解明が望まれている。破壊のメカニズム解明には、まず関与する多様な因子の相互の作用、相乗効果等について物理的又は化学的機序を解明することが不可欠である。本講義においては破壊、特に化学的作用が関与する複雑な環境助長割れに関する最新の知見とその体系化された学問領域について講義する。</p>	<p>知能流体システム学特論【TMFMEE728】 2単位 Intelligent Fluid Systems</p> <p>選・必 教授 丸田 薫 教授 佐藤 岳彦 教授 小宮 敦樹</p> <p>電磁場、微小重力、時空間微小スケール、界面干渉などの環境下におけるプラズマ流、燃焼流の機能性発現現象の基礎と熱流動制御、さらには知的なシステムの構築およびエネルギー機器、材料プロセス、環境浄化、医療への応用に関して論じる。以下に各教員の担当内容を示す。 (丸田教授) 燃焼現象のダイナミクス 基礎と応用 (佐藤教授) 気液プラズマ流の基礎と医療応用 (小宮教授) マイクロ・ナノスケールの熱流動現象計測と制御</p>
<p>機械システム保全学特論【TMFMEE729】 Advanced Mechanical Systems Maintenance Engineering</p> <p>選・必 教授 内一 哲哉</p> <p>各種産業プラントや航空機などの大規模かつ複雑な人工物システムでは、経年劣化に対して機能喪失を防ぐために保全活動が行われる。この保全活動をシステム全体の安全性と経済性の観点から最適化することが社会的課題となっている。本講義では、保全学を構築する基盤技術である、劣化損傷評価、非破壊検査・モニタリングについて、最新の知見を概説する。さらに、保全の最適化にむけたスマートセンシング、リスク評価、信頼性評価について講義し、劣化損傷評価、検査・モニタリング、リスク評価を融合した保全学の体系化について議論する。</p>	<p>多元物質応用システム工学特論【TMFMEE730】 Multidisciplinary Research and Application of Solid-State Ionic Devices</p> <p>選・必 教授 雨澤 浩史</p> <p>材料化学や固体物理をベースとした、固体内・界面のイオン輸送現象の基礎と応用についてのトピック的テーマを取り上げる形で進行する。授業形式の詳細については、開講時に別途周知する。</p>

<p>ナノテクノロジー特論【TMFMEE733】 2単位 Advanced Nano-technology</p> <p>選・必 教授 高立 幸志 教授 足立 幸志</p> <p>近年の加工、改質技術の進歩により、表面はナノ精度での形状制御、ナノ深さでの材料特性制御が可能になっている。講義ではそれら最先端技術が可能にする機能性表面、機能性界面の現状とその応用について紹介する。またフォトファブリケーションを基本とする半導体微細加工技術を中心に、電子、機械、光、材料などの多様な技術を融合できるマイクロマシニングについても講義するシリコン基板上に電子回路だけでなくアクチュエータのような異なる要素も集積化でき、小形でありながら複雑で高度な働きをする Micro Electro Mechanical System (MEMS) について講義するとともに、さらにナノ領域の NEMS (Nano-Electro-Mechanical Systems) への展開について紹介する。さらにナノテクノロジーを支える精密ナノ計測の技術についても紹介する。</p>	<p>バイオナノテクノロジー特論【TMFMEE734】 2単位 Advanced Bio-Nanotechnology</p> <p>選・必 教授 西澤 松彦 教授 田中 徹 准教授 福島 誉史</p> <p>バイオナノテクノロジーを中心に、関連するマイクロマシン工学、半導体集積回路技術、マルチスケールシミュレーションに関して、広域で、かつ深い専門知識を講義するとともに、問題点を発掘してそれに対する新しい解決方法を考究させることによって、博士課程学生の問題発見、設定能力を涵養する。バイオデバイスやバイオナノシステムの設計、およびその工学的・医学的な応用などを具体的な考究対象とする。</p>
<p>機械機能創成特別講義 B【TMFMEE735】 1～4単位 Special Lecture on Mechanical Systems Engineering B</p> <p>選・必</p> <p>専門分野における最新の学問研究について、または専門分野に関わる学問の創造・発展に関する特別講義である。</p>	<p>機械機能創成特別研修 B【TMFMEE736】 1～4単位 Special Seminar on Mechanical Systems Engineering B</p> <p>選・必</p> <p>異分野の複数の教官によるセミナー教育であり、高度専門知識の統合化による問題設定能力を習得する。</p>
<p>機械機能創成博士研修【TMFMEE737】 8単位 Doctor Course Seminar on Mechanical Systems and Engineering</p> <p>必修</p> <p>機能システム学、エネルギー学、先進機械機能創成、破壊機構学、知能流体システム学、多元物質応用システム工学の各グループにおいて、研究発表、討論などを含む実験および演習を行う。</p>	